

KSKS

ばなの木

Vol.67

今年には
読書の秋
ですね



二〇〇〇年十二月十二日

第三種郵便物承認

毎月(1・2・3・4・5・6・7・8)の日発行

編集人: 社会福祉法人「ばなな」

TEL072-277-2163 FAX072-277-2167

法人ホームページ

モンキーばなな (生活介護・就労継続B型)

サニー・サイト (生活介護・就労継続B型)

サニー・ばなな (生活介護)

らふたあ (居宅介護・重度訪問介護・移動支援・介護保険)

サポートセンターはなのこみち (グループホーム・相談支援)

堺市中区深井清水町 3488-1

e-mail:tomonoie@almond.ocn.ne.jp

<http://care-net.biz/27//banana/>

e-mail:banana_net@hotmail.co.jp

e-mail:sp9m7y39@wish.ocn.ne.jp

e-mail:sunny-banana@vesta.ocn.jp

e-mail:laughter_net@yahoo.co.jp

e-mail:bnnhana@aioros.ocn.ne.jp

コロナ禍でおもうこと……



2020年はオリンピックの年でありましたが、東京での開催も延期となり、コロナの事で全てが一変して世界中が、全く当たり前でなくなった日常生活を過ごす事となりました。緊急事態宣言が発令された時には、人との接触をいかに減らして過ごすかには、手と手をつなぐようなふれあいも出来にくい事に、心穏やかになるような過ごし方があるのだろうか?…と緊張感が高まるばかりでした。

緊張感の連続ではありますが、3密を避ける対策があちらこちらで、工夫が凝らされてきて少しずつではありますが不安を拭えてきた事もあります。しかしながら、100%の安心は未だにありません。そのような中でも、新しいつながり方で安心できる方法が出来てきました。オンライン会議、研修を社会福祉法人ばななも取り入れ始めました。今までの事が楽になった事もあります。後ろ向きにはならないように現状を今風に乗り越えていきたいとおもいます。

オンラインで通じあう方法は、新しいですね。高齢者施設や入所施設、病院などでは、重症化しやすい方を守るために家族との面会にも使われるのは、面会謝絶と言われていた頃と比べるとふれあう事はできないけれども、お互いに心が落ち着きますね。認知的に画面の中で家族と会う事を理解出来にくかった方のお話では、テレビに入っている感覚がいつもと違うもので、かえって喜ばれたそうです。新しい会いかたですね。

今年度に入り、支援学校の実習も例年のようにはすすんでおられず、受け入れる側の我々の事業所によりやく再来春卒業生のご家族の方の見学から始まりました。再来春卒業の実習生の体験が9月終わりごろやっとはじまりました。学生の方以外の体験希望の方も受け入れていき、地域になくってはならないような場所のひとつになれるようばななも努めている最中です。今、世界中が、同じ困難を乗り越えている真っ只中であります。新しい取り組みを初めだして何かと転換期を迎えているのではないのでしょうか?! ばななも想像力豊かに発想の転換期を迎えていることを痛感しています。コロナ終息時には、世界中に今までにないしあわせが私達の生活の中に感じられると思います。

指導主任 松本 三貴

【ばなの発】

活動報告

- 【7月】 3日(金) トールペイント講習会
5日(日) 泉北教会販売
10日(金) 外出行事「トンボ公園散策」
14日(火)～17日(金) 市庁舎バザー
16日(木) 西区作業所ネットワークバザー
18日(土) 土曜開所 おやつレクリエーション「みたらし団子」
23日(祝木) 調理訓練「焼きそば とうもろこし フランクフルト」
24日(祝金) 調理訓練「ピザ フライドポテト」
25日(土) 音楽の時間
- 【8月】 1日(土) 法人全体行事「切り絵パフォーマンス」
11日(火) トールペイント講習会
20日(木) 西区作業所ネットワークバザー
22日(土) 音楽の時間
- 【9月】 4日(金) 大阪880万人訓練
6日(日) 泉北教会販売
16日(水) トールペイント講習会
17日(木) 西区作業所ネットワークバザー
21日(祝月) 調理訓練「クリームシチュー 生食パン プリン」
22日(祝火) 調理訓練「カツ丼 みそ汁 りんごゼリー」
26日(土) 音楽の時間

研修報告

- 【7月】 10日(金) 法人全体研修「思わず買いたくなる陳列方法」
- 【8月】 5日(水) 「食品衛生責任者養成講習会」
21日(金) 法人全体研修「発達障害(自閉症)」
24日(月) オンライン研修「販路について」
28日(金) 堺ミーティング「新型コロナウイルスによる様々な影響と
これからの対策について～情報交換会～」
29日(土)、30日(日) ダウン症オンライン研修→P4、5に掲載
- 【9月】 11日(金) 法人全体研修「精神疾患」

初のオンライン研修

近頃は研修の実施方法にも大きな変化があり、会場を設けて参加者が集まる形式の研修は行われなくなり、代わりにインターネットを活用した研修が主流になりました。今回は初めて参加したオンライン研修がどのようなものだったが、体験を通じて概要を説明したいと思います。

まず研修をネットから申し込むと、当日の約一月前に資料が届き、昨年度「ダウン症セミナー」の講義内容の動画が閲覧できるようになり、その動画を視聴後、確認のクイズに答えた上で実際の研修に臨むことが出来ました。事前動画 4 時間 + 当日の研修 4 時間の合計 8 時間という、自身が受講しやすい時間を選びながら、内容をじっくりと咀嚼して理解できたことが、このオンライン研修の大きな特徴だったと思います。

当日は自宅で二日間にわたって、YouTube ライブ配信に参加し、主催者側も初の試みとのことで、踏み込んだ内容ではなく、学んできた内容のおさらい + 事前に募った質問に答えるという形式でしたが、本当に知りたかった事柄は、必要以上に理解することが出来ました。以下、実際の内容を掲載します。



「ダウン症成期の支援を考える～彼らの願いと思い～」

この日本ダウン症協会主宰のセミナーは前々回に参加しており、今回のオンライン研修の事前資料として前回のセミナー動画を閲覧したので、三年間分の内容を受講することが出来た。その内容は、長年ダウン症研究に携わってきた講師の方たちの、蓄積されたデータと共に実践を伴った非常にためになるものであり、家族や支援者が成人期のダウン症の方の支援で抱えている困難に、かなりの的確な回答がされていた。今回の研修報告では、その内容を箇条書きにまとめてみようと思う。

- ・加齢に伴う諸機能の変化が顕著に見られ始めるのは 30 歳代後半～40 歳代に至ってからである。成人期(20 歳前後)に起こる急激退行はダウン症者の社会性・対人関係に大きな関わりがある。
- ・特有の社会的スキル(誰に対してもフレンドリーな態度を取れる、理解していなくても笑顔で応える)、MA(精神年齢)の平均は 5 歳と低く、40 歳代まで維持が続く=心は子供のままという特徴を持ちながら、課題が難しくなる成人期には社会スキル通用しなくなり、ストレス反応として急激退行が起こる。
- ・急激退行とは、彼に伴う心身の衰退と遅滞した思春期が重なる年齢段階に、心理的

ストレスが加わり生じた心因性の抑うつ状態である。

・症状の発現後、①健康チェック→疾病・疾患への対処②老化チェック→低下・衰退の確認③環境チェック→ストレス(物理的、精神的)への対処をそれぞれ行う。

・支援はダウン症者成人期の基本プログラムを活用し、①働く②学ぶ・楽しむ③くらす④かかわる=4領域を年齢やADLによってバランスよく提供する。

・成人期の急激退行は加齢による退行とは違い、ストレスを取り除くことで回復する。しかし回復には時間を要し、適切な支援を行っても変化が現れるのは3~5年かかる。

・ストレス対処の基本は①初期のサインを見逃さないで早急に対応②ストレスの原因に仮説を立て、原因や状況を的確に把握する。ストレス対処の考え方は①取り除く②回避する③耐性を高める(人間関係の拡充、余暇の充実)④薬物療法(補助的な役割)

・支援の基本はわかりやすい環境、わかりやすい課題=①何をやるの?②どのようにやるの?③いつから、どこまでやるの?(初めと終わり)④どこでするの?

分かったフリをしてしまう、社会スキルを誤用させないために、丁寧にわかりやすい支援が必須となる。

・いつも集団の中では受け身的・追従的な関係でいることが多くても、生活のどこかでは先頭に立って活動できるような場、対人関係を持つことで自己効力感を体験し、プライドのある安定した成人期を送ることが出来る。

・支援の方針として、人との関わりを通して①心身の健康②興味・関心③意欲④目的意識⑤動作の早さ・正確さに働きかける

・豊かな生活のために!成人期の健康な生活への取り組み①定期健診②バランスのとれた食事③適度な運動を楽しく続ける④水分摂取に気をつける⑤老化が早いと決めつけない⑥なんでも相談できる主治医を持つ

・青年、成人者と上手につき合うための5つの原則①本人の意思を無視し、強要したり、制止しない②発達水準が幼くても、年齢に応じプライドを配慮して接する③本人の特性や能力に応じ、個別に目標を立て対応する④生き甲斐につながる出会いの機会を積極的につくり、生活に位置づける⑤一緒に活動する時間、見守る時間を通して、精神的な安定を図る

以上の内容から、ストレスへの対処を意識し、よりよい成人期を送れるように、画一的ではない支援の提供が必要であることが、しっかりと理解できた。ダウン症の方の成人期ならではの特性を踏まえた上で、それぞれを尊重した支援を行っていきたい。



モンキーばなな

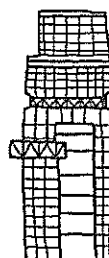


《 新しい車でちょっとドライブへ 》

8月28日(金)に、待ちに待った共同募金会からの助成金で購入した「ノア」が納車されました。本来であれば早速外出訓練に出かけたいところでしたが、あいにく新型コロナウイルスが猛威を振るっていた時期でもありましたので、泣く泣く断念しました。しかし、どうしてもこの新しい車で出かけたいたいと思い、定期的に行っている納品業務と合わせて、新旧2台の車両を使いみなんであべのハルカス周辺までドライブに行ってきました。新しい車両を運転した職員は緊張しっぱなしでしたが、利用者はドライブを楽しんでおられました。今はなかなか外出がしづらい状態が続いておりますが、このノアに乗って外出訓練や日帰り旅行に出かけられる日を楽しみに、毎日の作業に励んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、この度は助成金を頂き、ありがとうございました。共同募金会をはじめ、募金活動に参加して下さいました皆さまには、利用者職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。頂いた助成金で購入した車両は大切に使用させていただきます。

本当にありがとうございました。



《 おやつレクリエーション ～ ベビーカステラ ～ 》

10月14日(水)に、サニー・ばなの2階スペースを借り、おやつレクリエーションとしてベビーカステラ作りを行いました。作り方は、ホットケーキミックスをたこ焼き器で焼くだけと、いたってシンプルでしたが、参加した皆さんは楽しい時間と美味しいベビーカステラに大満足の様子でした。ベビーカステラは多めに作っていた為、サニー・ばななの方にもお配りし、喜んで頂きました。

外出して活動することにとらわれず、今回のように、作業の合間を見ておやつレクリエーションをするといった、室内でも楽しめる取り組みについても考えていきたいと思えます。



《 店舗の営業について 》

これまで日曜、祝日も店舗を開店しておりましたが、新型コロナウイルス感染予防対策として堺市より発信されている堺シグナルが「ステージ1」へ戻るまでの間、日曜、祝日は閉店しております。ご理解、ご協力よろしくお願いたします。

サニー・サイト



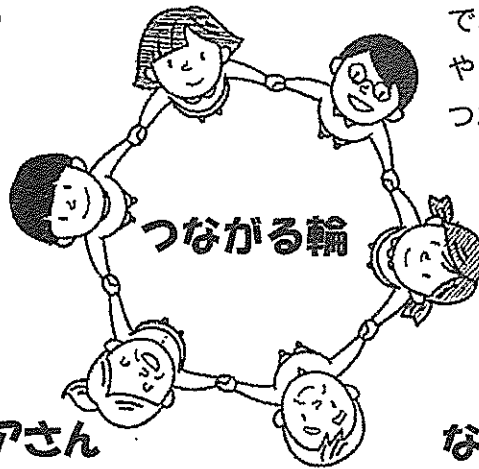
ご近所からの反響

サニー・サイト新聞にアルミ缶回収について、深井清水町のお宅であれば回収にお伺いしていることを改めて掲載したところ、お電話での問い合わせが数件ありました。回収依頼もあれば、アルミ缶の置き場を確認して下さり、「今度から持っていきます。」と親切な報告を下さる方もいらっしゃり、地域の方々とながっている喜びを改めて感じております。

市庁舎バザー

コロナ禍によって多くのバザーが開催を取り辞めています。パッセネットワークによる最大規模の夏のバザーは、できる限りの感染対策を実施することで、予定通り開催することが出来ました。厳しい状況の中でもアイデアを出し合いお客様が安心して頂ける環境を作り出すこと

で、力を合わせて無事にやり切れた事が自信につながりました！



ボランティアさん

感染予防と対策がまとまってきた事もあり、長らくお休みいただいていたボランティアさん方が復帰して下さいました！お休み中でも私たちの事を気にかけて下さり、手づくりのマスクを届けたりして下さいました。久しぶりにお互い元気な姿で会うことが出来て、ボランティアさんとの作業の時間を笑顔で過ごしました。

なかきょー

中区役所では例年、ナカ・ナカマネットワークとしてバザーを開催していましたが、今年はバザーの代わりにパネル展示と、注文販売が出来るように注文書も同時に配布し、それを見た方から注文を頂くというイベントを実施しました。クッキーの注文は中区役所の職員の方からのみでしたが、このような新しい取り組みを提供して頂き、ありがとうございます！



サニー・ばなな



避難訓練

10月12日に避難訓練を行いました。地震によって正面玄関が火事になったことを想定して、今年は裏口からの避難をしました。昨年初めて行った訓練の反省を踏まえ、裏口の段差にはスロープを置き、車椅子の方は後ろ向きで出る練習をしました。利用者の方は今年の課題をそれぞれが考えながら、積極的に取り組まれていました。独歩の方もスロープなしで段差に注意しながら避難し、火事発生から5分程で全員の避難が完了しました。その後、駐車場から道路へ出る道の確認をして事業所内に戻りました。

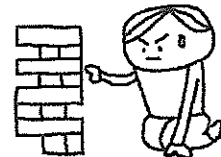
事業所内に戻ってからは防災に関するクイズをしました。正解率が高く、クイズの内容を皆ご自身に置き換えて考えていました。

今回の避難訓練もサニー・ばななで災害が起きた際の避難経路の確認と、皆で災害に関する知識を勉強するのに良い機会になりました。

この訓練で火事発生から全員避難完了まで5分かかったのも、実際どれだけの被害につながるのかを想像して、避難時間を短くできるように訓練を繰り返していきます！



ゲームでレクレーション！



ジェンガやオセロ、人生ゲームなど指先や頭脳を使うゲームを始めました。ジェンガは始めなかなか難易度が高かったのですが、回数を重ねるごとにゲームが続くようになり、盛り上がるようになりました。オセロは自分で置ける方は駒を置いて、難しい方は職員が代わりに駒を置いて取り組みました。利用者の方同士で声をかけあって対戦を楽しんでいます。また、少し変わったパズルにも取り組んでおり、7つのピースの組み合わせを変える事で20種類くらいの形ができるというもの、必死に考えながら取り組まれています。皆で指先を動かし、頭をひねりながら一緒になって取り組んでいます。

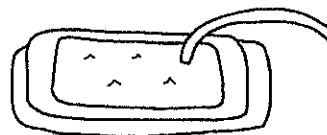


サポートセンター はなのこみち

夏の思い出・・・

今年は、例年に増して暑い夏でした。コロナ禍で、交通公共機関利用の制限があり、外出の楽しみといえば、はなのこみち周辺の散歩ぐらいであるのに、厳しい暑さの中では熱中症の心配もあり出掛けられない状態が続きました。

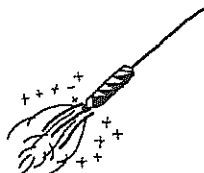
そこで、みんなの楽しみとして屋上にビニールプールを設置し、作業所から帰ってきた後の時間や、休みの日などに、水浴びをして涼をとることにしました。コロナ禍での楽しみとして、職員が考えたことでしたが利用者の方が喜んでおられ、いい笑顔がたくさん見られて本当に良かったです。



毎年 8 月 1 日は、三事業所の利用者が集まりはなのこみちの屋上で PL の花火の観賞会をしていましたが、今年はコロナの影響で花火大会が開催されませんでした。

打ち上げ花火はできませんでしたが、手持ち花火をしてみんなで楽しみました。打ち上げ花火ほどの派手さはないですが、手持ち花火も真っ暗な夜空をパッと明るくし、十分にきれいで、みんなの夏の思い出として心に残りました。

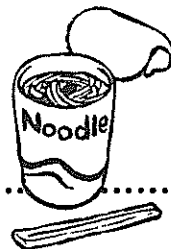
色々なことが制限されている中でも、出来る限りのことを実施して、前向きに、今ある楽しみを一つずつ見つけていきたいと思います。



住まいでも防災意識を！

大阪880万人訓練の翌月、各事業所での避難訓練とは別に、グループホームという暮らしの場所でも、防災への意識を持つための訓練をしました。夕食時に停電になった事を想定して、電気を消した暗闇の中で、保存食であるアルファ米を調理して、炊き込みご飯を作り、カップラーメンと一緒に食べました。

当日は雨が強く降っていたことも重なり、暗闇が怖いという意見もありましたが、訓練の意図を説明すると皆すぐに理解して下さいました。普段と違う環境の中でも、力をあわせて乗り越えられるような支えあいを日頃から積み重ねています。



地域のみなさんとともに



クリスマスクッキーセット販売についてのお知らせ

前号でもお伝えした通り、新型コロナウイルス感染拡大の観点から、今年度につきましては、恒例の営業販売通常の販売を行わない事となりました。

毎年、たくさんのご注文をいただいておりますが、今年も楽しみにしてくださっていた方もいらっしゃるかと思いますが、お客様、利用者、職員の安全を第一に、苦渋の判断を致しました。何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

また、1月半ばからの「バレンタインクッキーセット販売のご案内」につきまして、例年とは異なる形での販売を検討しております。詳細が決まりましたら、1月に発行予定の「ばなの木 Vol. 68」にてご案内させていただきます。



秋のイベント中止のお知らせ

毎年、秋には様々なイベントやバザーに法人や事業所単位で出店させていただいていましたが、今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、長い歴史の中、絶やすことなく開催されていたイベントがやむを得ず中止となっています。地域の皆様方も楽しみにしてくださり、大勢の方がお立ち寄りくださっていた事もあり、とても残念に思います。

来年は開催される事を願い、今できる感染対策に努めていきたいと思っております。



編集後記

例年より寒暖差が激しく、体調を崩しやすい時期となっています。冬の到来を前に、今一度、皆で気を引き締めなおし、この秋冬を息災で過ごせることを願っております。

編集委員一同

発行人 関西障害者定期刊行物協会
二〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便物承認

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山2-1-2
毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

東興ビル4F

定価100円